

## 核物質防護に関する不適合情報

2024年9月9日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、鳥の接触により検知範囲にずれが生じていたことから、検知範囲を修正し、固定を強化するとともに、忌避対策を実施した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/6/12	
2	核物質防護に関する秘密情報を持ち出す際は、マニュアル指定の台帳での管理を求めているが、異なる様式の台帳で管理されていたことを確認した。 調査の結果、マニュアルの理解不足によるものであったことから、関係者へマニュアルの再教育を行った。	2024/6/21	

4. 公表区分その他 6件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの画角内に干渉物があり、監視の視界を一部妨げていることを確認した。 調査の結果、干渉物は安全対策で新設された機器であったことから、当該カメラを移設し、正常な視界を確保できるよう復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2022/10/18	
2	核物質防護設備の付属機器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、上記による防護措置への影響はなかった。	2024/3/28	
3		2024/8/28	
4	視察者に、入域区分が申請内容より狭い一時立入り者用IDカードを渡していたことを確認した。 調査の結果、一時立入申請書に記載の入域区分を見誤っていたことから、当該申請書の入域区分を明示するとともにダブルチェックを行う運用とした。	2024/7/5	
5	侵入検知器が、一部正常に動作しないことを確認した。 検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/7/14	
6	核物質防護上の設備の鍵が施錠されていないことを確認したため、施錠を行った。 調査の結果、設備点検の作業後に施錠を失念していたことから、対策として作業時のチェックリストに施錠状態の確認を追加するとともに、関係者に周知した。 なお、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかった。	2024/8/11	